

## The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第1号

令和8年4月6日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

今年度もキャリア教育部通信を発行していきます。この通信で、社会の変化とそれに対応して生きていくのに必要な力や新しい価値観などの情報を発信していきます。

みなさんが進路を考える際の一助となり、「**新しいものを創りながら、生きていくぞ!**」という強い意志が持てるようになってほしいです。

しっかりと読んで、何かを感じ取って、心のエネルギーにしてください。

4月は穏やかな暖かさになり、いろいろな花が咲きます。春の花の花言葉を紹介します。

さくら：精神美                      かすみそう：清き心                      クロッカス：青春の喜び  
スイートピー：門出                      すみれ：誠実

心新たに出発です。やりたい・なりたいものを目指して、頑張ってください。

さて、AI・ロボットの進化と共に社会はものすごいスピードで大きく変化しています。「AIはAI自身によって進化していくのだ。そのインパクトは、インターネットやスマホの登場を遥かに凌駕する。」とされています。

(2034 未来予測 AIのいる明日 中島聡 徳間書店より)

以下のような生活が8年後には実現しているようです。物語です。

「うまい!これ、本当にロボットがつくったのか?」「すごいでしょ?」と、妻が嬉しそうに言う。キッチンの隅では、我が家の人型ロボットが、静かな駆動音を立てて調理器具を洗っている。身長160センチ、パールホワイトのボディ。もはやどの家庭にもある一般的なモデルだ。見た目はシンプルだが、声のトーンや仕草には不思議と温かみがある。人型ロボットが我が家にやってきてもう3年になる。それまでは仕事から帰ってきて、そこから「第二の仕事」が待っていた。掃除、洗濯、夕食の準備。それをこなすだけで、二人とも毎日疲れ果てていた。でもいまは違う。ロボットが、面倒な家事をすべて引き受けてくれる。仕事から帰ると、部屋は整い、温かい食事がすぐに並ぶ。

昔は冷蔵庫・洗濯機・掃除機が、家電の「三種の神器」と呼ばれていたらしい。少し前にはロボット掃除機やドラム式洗濯機、食洗器が「新三種の神器」として人気だった。たしかに便利だった。だが、それらはあくまで「手間を減らす道具」にすぎなかった。スイッチを入れるのも、洗剤を補充するのも、片付けるのも、結局は人間だ。そんな不自由な便利さで満足していたかつての日本人が、いまの俺たちから見ればどこか微笑ましく思える。

解説として、以下のような内容も書かれています。

## 高性能・人型ロボットの「低価格化&大量生産」による空前の産業革命

### \*人型ロボットが一家に1台、普及する

人型ロボットの値段は自動車並みに安くなる

### \*例えば、タクシー業界について

世界中で使われている膨大な数の既存車両を、すべて自動運転専用車に買い換えるとなれば、途方もないコストになります。それよりも合理的なのは、すでに走っている自動車の「運転者」だけを置き換えることです。運転席に人型ロボットを座らせるだけで、車両を買い替えることなく「無人タクシー」を実現できる。ハードウェアを刷新するのではなく、知能だけを差し替える。この発想こそが、人型ロボットの強みなのです。

ネット記事 (Seizo Trend) に次のようなものもありました。

## AIどころではない・・・2年後に人型ロボット「爆発的普及」で75%の雇用が終了

「ついにロボットが職場の同僚になる時代がやってきた」と言っても過言ではない状況だ。各社の人型ロボットが続々と実用化段階に入っている。問題は、この変化で人の雇用の75%が影響を受けるという予測だ。

### 来年には10万体の人型ロボットが市場に投入へ

従来の産業用ロボットのように専用スペースを設ける必要がなく、既存の工場やオフィスにそのまま導入できる点が魅力だ。劇的なコスト削減と、AI技術の飛躍的な進歩により、人型ロボットの爆発的な普及が目前に迫る。

これらの予想から、これからの社会をどのように想像しますか。みなさんは社会の変化を予測しながら生きていかなければなりません。その中で世のため・人のためにどう貢献して生きていきますか。今までのサービスがなくなり、変化し発展して、新しいサービスがたくさん生まれるのは確実です。みなさんの柔軟な思考力で新しい物事・価値観を創ってほしいです。「みんなが幸せに感じるような社会にしていこう！」という大きな夢を持って、前向きに生きていきましょう！具体性がなくても結構です。大きな方向性を夢見て、幸せな気持ちでスタートを切りましょう！